

## 青少年の健全な育成・支援に関する 調査・検討事項について（素案）

### 1 趣旨

青少年の体験活動については、自然体験や生活体験を多く行っている者ほど、他者への思いやりや積極性などの自立的習慣が身につけているとの調査結果が出ている。

一方、子供会や青少年相談員など県内の青少年の健全育成に関わる団体加入者数は、青少年人口の減少を上回るペースで低下し、地域によってその活動状況に差が生じている。また、核家族化の進行や実体験の不足などにより、子供たちのコミュニケーション能力や規範意識の低下が指摘されている。

このため地域で行われている体験活動の実態を明らかにするとともに、今後、青少年の健全育成に関わる諸団体が連携し、地域の大人を巻き込みながら子供たちの体験活動を推進する施策を検討する。

### 2 目的

- (1) 県の施策（26年度事業（既存予算で対応）・27年度予算要求等）への反映
- (2) 市町村等への情報提供、広報

### 3 スケジュール・内容（案）

時期	審議会	事務局
25年 4月～		基礎資料収集・分析 市町村、地域活動団体・企業の情報収集 ・市町村青少年行政主管課の取組状況
6月～	調査事項に関する意見聴取	・福祉部門・教育部門の取組状況 ・先進事例の収集・調査 ・青少年団体・市町村民会議・青少年相談員等の活動情報収集
8月		調査事項等の検討 アンケート票等の検討
9月～	調査内容等への意見聴取	活動団体等への調査の実施
11月～	調査結果に関する意見交換 追加調査の検討	調査結果中間とりまとめ・分析
26年 2月	調査結果に関する意見交換 今後の青少年施策の方向性検討 （中間まとめ）	追加調査の実施 調査結果とりまとめ 市町村への情報提供
26年度	今後の地域における体験活動推進施策について協議・検討（3回程度） 先進事例視察（必要に応じて実施）	新規施策の素案作成